

2008 年度

科目名 現代メディア分析 A	対象学科・学年 文学部日文3 回生	担当者 鈴木 利一
授業テーマ 新聞・ニュース、そしてインターネットを通して現代社会における情報との向き合い方を考える。		
授業の概要と目標 激しく移り変わる世の中の動きを、我々に伝えるメディアは数多く存在します。そして、過渡期を迎えているとはいえ、いまだ新聞・放送メディアによるニュースが重要な位置を占めていることは間違いありません。本講義を通して、新聞・放送からいかなる情報を得られるのか、また、その情報をどう他者に伝えられるのか、新しく台頭したインターネットの特質と既存メディアとの関連性など、共に考えてみたいと思います。		
評価方法 講義への出席状況（40%）、課題の提出状況（40%）、課題に取り組む姿勢（20%）等を勘案し、総合的に判断します。		
テキスト 講義時に配布する、教材・資料を用います。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 この講義では、1 回ごとの内容が次の 2 部構成となっています。 前半は、この 1 週間の新聞等のニュースから、現実に移り変わりゆく社会の姿をリアルタイムで読み取ることを目指します。新聞の紙面構成や新聞にまつわるすべての事柄、たとえばチラシ広告などにも注意を向け、新聞紙面に掲載された情報に対する実践的対応能力を養成します。さらに、インターネットの特質に注目し、新聞紙面のみでは伝わらない情報までも含めたオンライン検索の手法、分析法を探ります。また、当日取り上げたテーマに沿って、日本社会の仕組みやその背景となる文化、季節にまつわる話題等を取りあげていく予定です。あわせて、この講義で習得した情報リテラシーを日本語教育や異文化間コミュニケーションの場に応用する方法を考えてみたいと思っています。設定されるテーマの概要は、以下の通りです。 ・日本社会の仕組み ・官公庁の果たす役割 ・日本のマスコミ ・日本の産業 ・日本の経済 ・日本の文化 ・日本の年中行事 ・日本の自然環境 ・日本と日本を取り巻く国際環境 ・日本社会の問題点 後半では、経済国家としての日本の特質を、経済情報の分析から学びます。オンラインで提供される現実の株式市場に連動したバーチャル取引ゲーム等を利用して、自己資金運用の模擬実践を行い、社会情勢に対する基礎的知識の習得と経済動向に対する的確な情報判断能力の養成を目指します。 講義中、オンライン検索を多用しますが、許可を得ないで講義とは無関係なサイトを閲覧することを厳重に禁止します。		